

【会議の概要】

1 開会

- ・渡辺定住促進課長の進行で 13：55 開会

2 会長挨拶

- ・金子会長による挨拶

3 委員紹介

- ・出席委員からの自己紹介

4 議 事

(1)報 告

①路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーの運行状況について

資料No.1 により事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

- 労災病院線で上越へ通う生徒や通院の人が増えていないか。
→乗降調査結果では増えていない。

②路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーの時刻改正について

口頭説明 ※(2)協議の①の資料No.3－3 が内容を包含しているため。

＜各委員からの質疑・意見＞

- 下早川小学校入口 12：47 糸魚川行きのバスだと、4 限放課の時に間に合わないため、5 分短縮授業で対応していると聞いた。
→教育委員会及び下早川地区振興協議会長様からも伺っており、糸魚川バスさんとの協議を経て、この改正で短縮授業をしなくてもよいよう時刻変更対応済。

③利用促進のための P R ・啓発活動について

資料No.2 により事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

- 路線バス出張サロンよるかいか～（西能生地区）に参加した。いろいろ知ることができてよかった。

④その他

なし

(2) 協 議

①路線バスの運行系統の廃止について

資料No.3 により運行事業者から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

- ㊦扱いをやめる理由に「今は学校によって始業式、終業式が違っている。」という説明があったが、当市は、教育委員会が統一した日程を定めるので、そうではない。ただ、暦の関係で終業式等が年によって異なることはある。
→間違えた。「一般の方には終業式、始業式がわかりづらい。」と伝えたかった。
- 中尾線については、能生中学校へは行かず能生駅が終点だと。中学生達は能生駅から中学校まで徒歩で行くのか。
→予算が絡むため、市議会に予算案を諮るところではあるが、事務局及び教育委員会では、能生駅前で一旦路線バスとしては打ち切り、同じバスがそのまま中学校までスクールバスという位置づけにして同じ車両で子どもさんを運ぶ予定である。

- 能生駅前～能生中学校間は、歩いても平気な距離だと思う。
- 逆もまた同じことか。
- 同様に、能生中学校～能生駅間はスクールバス、能生駅前～中尾地区は路線バスとしたい考えである。

②コミュニティバスの経路の延伸等について

資料No.4 により運行事業者から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

- 資料No.4—4の宮本屋商店は、溝尾の宮本屋商店とは違うのか。
 - 川詰地域では宮本屋商店という呼称で昔からおっているため、採用している。
- 大洞の地藏堂から上がる所は確かに急坂で危険である。冬期間通らないことに賛同。

③（仮）糸魚川市地域公共交通協議会への移行について 資料No.5

資料No.5にて事務局から説明

＜各委員からの質疑・意見＞

なし

④その他

＜各委員からの質疑・意見＞

- インバウンドや観光面から利用促進策を提案する。外国人観光客が路線バスに乗りやすいようにバスとかバス停に路線番号を表示してはどうか。時刻表にシールを貼る、主要観光施設に絞る等、できるところから実施してはどうか。
 - 路線番号をバスの方向幕まで入れるのはなかなか大変。参考にしたい。限られたスペースに明瞭簡単にわかりやすくできるか。
 - 路線番号を付けるなら、まずは駅、主要観光施設ではないか。
 - どこまで運ぶのかの「どこ」が大事ではないか。
 - フォッサマグナミュージアムや翡翠園など、ある程度固定したところから手を付けてはどうか。外国人旅行者の方が行くような場所。

5 その他

研修会のご案内文書について事務局説明

※渡辺定住促進課長の挨拶で 15：45 閉会